

標 題 : Relevance of Mediterranean diet and glucose metabolism for nephrolithiasis in obese subjects
肥満被験者の腎結石症における地中海食事およびグルコース代謝の関連性

著 者 : Soldati L, et al.

掲 載 誌 : J. Transl. Med. 12: 34 (2014)

要 旨 :

腎結石症は、さまざまな西欧諸国の肥満患者に多くて重症である。

これは、肥満の結石患者におけるカルシウム、尿酸塩、シュウ酸塩の高い排泄によって裏付けられると思われる。

この特徴以外に、肥満の結石患者の臨床的な特徴は広く研究されなかった。

本研究で、肥満およびその代謝に関連するものと腎結石症との関連を、我々は研究した。

BMI \geq 25kg/m²の白人被験者 478 人で、我々は研究した。

腎結石症、高血圧、糖尿病およびメタボリックシンドロームの存在を注目した。身体測定 (BMI とウエスト周囲、体組成)、血清数値 (空腹時血糖、血清脂質、および血清酵素)、および地中海食事栄養アンケートを、被験者は受けた。

45 人(9.4%)の参加者が結石患者であった。

トリグリセリド(\geq 150mg/dl)、空腹時血糖(>100mg/dl)および AST(>30U/l の女性または>40U/l の男性)の血清濃度が高い被験者は、非結石患者よりも結石患者の間で多かった。

腎臓結石の生成は高い空腹時血糖(OR=2.6、95%CI 1.2-5.2、P=0.011)、AST(OR=4.3、95%CI 1.1-16.7、P=0.033)およびトリグリセリド(OR=4.3、95%CI 1.3-5.7、P=0.01)と関連すると、多項ロジスティック回帰で確認された。

地中海食事スコアは結石患者と非結石患者で違わなかった。

しかし結石患者は、非結石患者と比較してオリーブ油およびナッツの摂取頻度が低く、ワインの摂取頻度が高かった。

過体重および肥満の結石患者は、グルコース代謝の欠陥および肝臓障害の可能性がありうる。

地中海食事に典型的な一部の食品は、腎結石症を予防すると思われる。
